

研究協力のお願ひ

昭和大学江東豊洲病院こどもセンターでは、下記の臨床研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へご連絡ください。

1. 課題名			
ESBL 産生大腸菌による小児上部尿路感染症の抗菌薬の有効性に関する検討			
2. 研究責任者	所属	職名	氏名
	江東豊洲病院こどもセンター	准教授	阿部 祥英
3. 研究の概要・計画			
<p>小児急性上部尿路感染症に対して使用される抗菌薬は症例の重症度や施設ごとにさまざまですが、抗菌薬ごとに有効性を検討した報告は多くありません。昭和大学病院小児科では初期治療の第一選択薬として第一世代セフェム系抗菌薬であるセファゾリンを用いた検討を行い、その有効性と妥当性を報告してきました。今回の研究では、昭和大学江東豊洲病院こどもセンターでも同様の結果が得られるかを確認したいと思っております。また、多剤耐性菌である ESBL 産生大腸菌による尿路感染症に対象を限定した場合に、非カルバペナム系抗菌薬でも治療可能かを臨床効果、抗菌薬感受性などを解析して総合的に評価したいと思っております。</p> <p>調査項目：画像検査（超音波、排尿時膀胱尿道造影、DMSA シンチグラフィ）、使用抗菌薬、有熱期間、血液培養陽性率、ESBL 産生菌の抗菌薬感受性、ESBL 遺伝子型、尿路感染症の再発率、膀胱尿管逆流現象の有無、手術適応の有無、腎シンチグラフィでの急性期欠損像の有無、腎瘢痕の有無。</p>			
4. 研究実施期間			
倫理委員会承認日～2023年3月31を予定しています。診療録（当院開院から2022年3月まで）をみて、後方視的に検査結果を集積します。			
5. 問い合わせ先			
昭和大学江東豊洲病院こどもセンター 阿部祥英			
住所：135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38			
電話番号：03-6204-6000			

なお、個人情報の保護のため、診療情報はすべて個人を識別できる情報（氏名、住所、生年月日、電話番号など）を削除し独自の記号を付して取り扱い、研究成果を学会や論文で発表する際も個人情報を出すことはありません。